

ようこそ、レトロモダンへ

旧宮塚町住宅

「旧宮塚町住宅」は昭和28年に建てられた、日華石を使った珍しい石造りの市営住宅です。このモダンな建物をリノベーションし、芦屋の市民活躍と地域活性化の拠点とするプロジェクトがいよいよ本格的に動き出しました。グランドオープンした7店舗の個性的なショップ・アトリエ・ワークショップをご紹介します。



紅茶専門店
Tea Saloon MUSICA
ティーサローン ムジカ



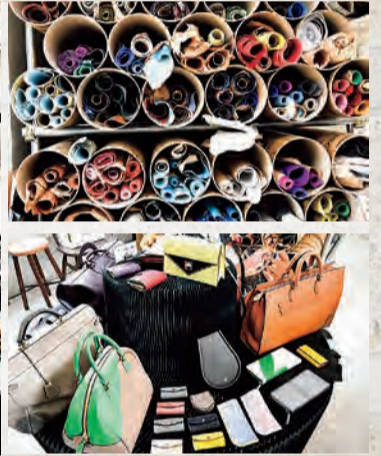
1952年、初代堀江謙吉がTea Saloon Musicaを創業。2代目堀江敏樹が日本で初めてポットサービスによる紅茶を提供したといわれています。堂島で61年、芦屋に移転して6年。そしてまた、この芦屋の地で素晴らしい建物と巡り合いました。
☎38-8677 午前11時～午後7時 定休日:日曜日

フルオーダーのレザーグッズ
Ameieriga toribitatta
アメエリーガトリビタッタ



厳選された最高の素材で世界に一つだけのレザーグッズを仕立てています。10年以上の修行経験を活かし、伝統的な手法により創意を凝らした作品、色彩に富む美しい作品を製作しています。

☎34-2323 午前11時～午後5時 定休日:不定休



ハンドメイドの革靴
ツムジ靴店



日々の暮らしのちょっとした買い物や、散歩でも楽に履ける革靴をハンドメイドで製作しています。革靴は「硬い、重い」と少し敷居が高いと考えている人も気軽に立ち寄って、試着していただきたいです。
正午～午後6時 定休日:不定休

旧宮塚町住宅とエリアブランディング

解体が決まっていた市営住宅を改修保存

平成28年(2016年)の芦屋市創生総合戦略を策定後、「将来にわたって住み続けたいまち・住んでみたいまち芦屋」であるために、今何をすべきかという議論を交わす中で、「歴史的建造物である石造りの市営住宅を残して、まちの活性化につなげたら」という意見がでてプロジェクトが始まりました。

多様な価値観を受けいれるために

多種多様な団体とお話しした際に、「芦屋はあまりにも働く場が少ない」という意見が印象に残りました。ITの飛躍的進化に伴い、テレワークや在宅勤務等が進み、『住まう』ことにも多様な価値観が生まれる中、「閑静な住宅地」一辺倒では「面白みのないまち」になってしまうと感じ、「芦屋で働いてみたい」という思いのある女性を主なターゲットとしたスタートアップ施設にできないかと考えました。

問い合わせ 政策推進課 ☎38-2127 /男女共同参画推進課 ☎38-2518

歴史的建築物の保存の難しさ

昭和28年建築であるため、耐震改修工事を行いました。その後、リノベーションは、古い建物の再生や利活用精通している事業者の工夫により、クリエイターの関心をくすぐる仕上がりになったと思います。長年使用していない部屋が多かったので、見えない部分に傷みがあり改修に苦労しました。

リノベーション後は、独立採算の自走型施設へ

建物を存続するにあたってこだわった点は、イニシャルコストを極力抑え、改修後は家賃収入等で自走できるようにすることです。もっと費用をかければ、建物の壁を撤去して、大きな空間を確保することもできたでしょう。行政財産として保有すれば、税金を投入して管理運営をすることもできたでしょう。でも、長い目で見ると、それでは意味がないと思いました。欲張りかもしれませんが、民間のノウハウを活用し、かつ、まちの活性化の核となるような施設にしたいと考えました。